

Mathematical Optimization Society

Paul Y. Tseng Memorial Lectureship in Continuous Optimizationを 福島雅夫先生が受賞

会員の福島雅夫先生が、連続最適化分野で最も権威のある賞の一つである Paul Y. Tseng Memorial Lectureship in Continuous Optimization を受賞されました。心よりお祝いを申し上げます。なお、同賞の詳細については、Mathematical Optimization Society のページ <http://www.mathopt.org/?nav=tseng> をご覧ください。

福島雅夫先生の受賞に寄せて

南山大学の福島雅夫先生が、7月に開催された国際数理計画学会 (ISMP2015) において、Paul Y. Tseng Memorial Lectureship in Continuous Optimization を受賞されました。福島先生は本学会の近藤賞に引き続いての榮譽ある賞の受賞となります。おめでとうございます。

Paul Y. Tseng Memorial Lectureship in Continuous Optimization になじみがない方のために、まずはこの Lectureship の紹介をします。この Lectureship は、Mathematical Optimization Society が授与する六つの賞の一つで、Paul Tseng 氏の連続最適化に対する功績を追悼して設立されたものです。連続最適化に対して顕著な研究業績をあげるとともに、アジア太平洋地域での研究普及に貢献した研究者に授与されます。第1回は Stanford 大学の Yinyu Ye 氏が受賞しており、福島先生は第2回目の受賞者となります。

福島先生の研究業績は近藤賞においても紹介されているとおりで、業績からみた受賞は当然のものです。われわれ日本の連続最適化の研究者にとってうれしいことは、福島先生のアジア太平洋地域でのリーダーシップが認められたことです。Ye 先生は米国に在住ですので、福島先生の受賞はアジア地域では最初のものとなります。このことは、福島先生とともに、日本の連続最適化の研究活動が、アジアのトップレベルであると認められたからだと思えます。

福島先生は、20年ほど前に Pacific Optimization Research Activity Group を設立し、アジア太平洋地域での研究促進や若手研究者の育成にあたられています。そのこともあり、近年ではアジアの連続最適化の研究者が世界で目覚ましい活躍をしています。このようにアジア太平洋地域の研究が活発化したことは大変喜ばしいことです。ただ、それと比例して、20年前と比べると日本の相対的な地位が下がってきているような気がします。福島先生に引き続き、世界でリーダーシップがとれるよう、研究・教育をがんばっていくことが私たち（できれば若い人）の使命だと思います。

山下信雄（京都大学）

